



かけはし



文責：小倉

命について考える～「性に関する指導」授業参観～



1月24日の授業参観には、平日にもかかわらず、たくさんの保護者の方々に参加をいただきありがとうございました。当日は、すべての学年で「性に関する指導」の授業の様子をご覧いただきました。子供たちの様子は、そして授業の内容はいかがだったでしょうか？

「性に関する指導」では、性に関する科学的な知識を習得することはもちろんですが、自分や友達の性について考える中で、生命尊重、他者理解、男女平等等の精神について考えるよい機会に繋がります。

学校教育では、「性に関する教育」の目標を

- ① 命を大切にする気持ちを育てる。
- ② 身体についての科学的認識を育てる。
- ③ 人間関係（家族・社会の一員）を育てる。



として、発達段階に応じながら6年間を通じて計画的に学習をすすめています。御家庭で、性に関する指導等で困られたことがありましたら、気軽に学校に御相談ください。（※授業参観の様子は、学校HP及びPTAブログでご覧いただけます。）



命を守ることについて考える

～地震・津波避難訓練～



自然災害は、私たち人間の都合にお構いなく、いつ何時私たちに牙をむくのかわかりません。特に地震に伴う災害は、前もって予想することができて困難です。8年前に熊本地震を経験している私たちは、身をもってこのことを実感しました。私たちにできることは、もしもの時にどう動くのか「前もって決めておくこと」そして「できる準備をする」ことです。この「前もっての準備」が、いざという時に慌てず、最善の方法で、少しでもその被害を小さくしてくれます。



先日、不知火小学校では、地震と地震に伴う津波を想定して避難訓練を行いました。3階建ての校舎がある本校では、想定される津波の高さより高い3階への垂直避難を行いました。子供たちは真剣に訓練に参加するとともに、命を守ることの意味をしっかりと考えてくれたようです。



熊本地震で崩れた旧不知火小学校
(平成28年7月撮影)

校長講話の最後に子供たちに向けて、「学校以外で地震等の自然災害に出会ったときどう動くのか？」という問いかけをしました。自分の命や家族の命を守るためにも、「どこに避難するのか。」「お互いの連絡はどうするのか」など、もしもの時を想定して家族で話し合ってみてください。

「熊本地震」では、不知火小学校の旧校舎が大きなダメージを受けました。発災当時、教頭として本校に勤務していた私は、職員とともに、地域の方々、そして全国からの助けを受け、学校再開に向けて必死に頑張ったことを記憶しています。

この災害を通して、大自然の恐ろしさを知ったのと同時に、他者を思いやる人の気持ちの温かさ、そして決して諦めない人間のたくましい姿も知ることができました。この経験は今も自分自身の大きな財産となっています。

